

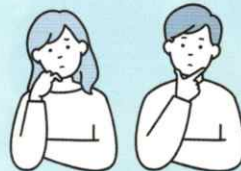
自分って何がしたいんだろう？ 自分はこのままでいいの？

先行き不透明な時代の中で、自分は何をすればいいのか、
自分はこのままでいいのかと不安に思う若者が増えてきています。

将来に対する
漠然とした不安

自分に自信
が持てない

大学卒業後の
キャリアの方向性
が決まらない



新卒の3割が3年以内に離職…

新卒者の離職理由として多いのが、入社した企業において「自分のやりたいことができていない」です。だからこそ今、自分自身のことを徹底的に理解して、自分の「やってみたい」を明確にすることが必要です。



参考文献：厚生労働省：「新規学卒就職者の就職後3年以内の離職状況について取りまとめ
マイナビ調査：「キャリア意識調査」

共創型リーダー研修プログラム
「マイコンパスプロジェクト」

MY COMPASS PROJECT

「やってみたい」を「やってみる」

お申し込みは
こちらから



研修内容

1 オリエンテーション

6月

参加者同士の自己紹介を実施した後、本研修の目的と内容、スケジュールについて説明します。また、研修後にどのような自分になっていたかイメージを共有し合います。

2 意識化・学び直し

6・7月

自分史の振り返りをきっかけに、これまでの自分の選択や決定に対して、徹底的に「なぜ」を繰り返し、自分の価値観に意識的になります。また、ゲストのストーリーを聞いて、自身の固定観念を吟味する機会を持ちます。

3 言語化

8月

自分自身の価値観と感情を組み込んだストーリーを、オープンに語ることを通じて、ともに行動する仲間を増やすための手法（パブリックナラティブ）を学びます。実際に、会場の中で自分のストーリーを、手法を活用して発表してもらう機会もあります。

4 組織化・戦略策定

9・10月

同じ想いや志を持った仲間との関係構築方法（例：1対1のミーティング技法）、効果的なチーム作り、社会を動かすための戦略策定方法（例：パワー分析、変化仮説の作り方）について学びます。

5 行動

11・12・1月

自分自身の「やってみたい」こと（小さなことでOK）を、仲間とともに実際に行動に移します。アイキャン職員が定期的にオンラインでコーチングを実施し、あなたの「やってみたい」ことを応援します。

6 振り返り

2月

1年の振り返りを行い、各自自分が行動に移したことを発表してもらいます。また、研修前の自分と研修後の自分の変化について、仲間同士で共有し合う時間も持ちます。

講師



福田 浩之 認定NPO法人アイキャン 専務理事・事務局長

フィリピン大学の大学院で地域開発を学び、2013年より認定NPO法人アイキャンのフィリピン事務所職員として勤務を開始。路上で生活していた子どもや若者が、路上から抜け出し、自分たちで自分たちの課題を解決していけるよう伴走した経験を持つ。フィリピンでの10年間の駐在を経て、2023年に日本に帰国し、現在は愛知県と岐阜県に暮らす外国ルーツの方々とともに地域づくりにも取り組んでいる。



稲葉 久之 認定NPO法人アイキャン 理事・ファシリテーター

大学で国際開発を学び、JICA 海外協力隊（コミュニティ開発：旧村落開発普及員）としてセネガルで活動。帰国後に大学院に進学しファシリテーションを学ぶ。国際協力NGO職員としてアフリカに駐在、名古屋のまちづくりNPO職員を経て、現在はフリーランスのファシリテーターとして活動中。まちづくりや地域の課題解決の話合いの場づくり、ファシリテーションやチームビルディングの研修、大学の非常勤講師などを行っている。
修士（教育ファシリテーション）

実施団体



アイキャンは一人ひとりの「できること（ICAN）」を持ち寄ってよりよい社会をつくらうと、
たった一人の会社員から始まった国際協力NGOです。

アイキャンは、「誰もが持てる力を発揮できる社会」を目指し、1994年からフィリピンで活動をしています。一人ひとりが自分の「できること」に気づき、「できること」を増やし、多様な人々が「できること」を持ち寄ることで、社会は少しずつ良くなっていくと信じています。路上で生活する子どもたちも、貧困状況にある人々も、力を持った存在です。だからこそ、アイキャンは課題を抱える人々と「ともに」活動することを大切にしています。



「やってみたい」を「やってみる」

参加大学生
募集中

共創型リーダー研修プログラム “マイコンパスプロジェクト”

MY COMPASS PROJECT



「わたし」から始める社会のつくりかた

自分の「やってみたい」って何だろう？

「やってみる」のは意外に難しい。「失敗したらどうしよう」という不安を感じてしまう。でも、同じ志を持つ仲間と出会い、行動する方法を学び、小さな一歩を積み重ねることで、何か変わるかもしれない。社会をより良くするために、「やってみたい」がある人も、まだ「やってみたい」は分からないけど、何か「やってみたい」人も、自分なりの一歩を仲間とともに踏み出すことができるプログラム。それが「マイコンパス・プロジェクト」です。



研修で身につく3つのポイント

★ 自分の「やりたい」を形にできる

自分史を振り返り、仲間と共有して対話することで、今まで気づいていなかった自分を発見することができます。本プログラムでは、自分の価値観に気づき、自分の「やりたい」を明確にすることができます。

★ 社会を自分の手で動かす方法が学べる

私たち一人ひとりの手で、実現したい社会は作ることができるはず。ただ、そのためには、ちょっとした理論を学び、実際に小さな一歩を踏み出すことが大事です。本プログラムでは、そんな学びと経験が得られます。

★ 同じ志を持つ仲間と繋がることのできる

社会を動かすためには、一人の力ではできません。同じ想いや志を持った仲間が必要です。本プログラムでは、学校や学年を超えた同年代の仲間、地域社会の中で活動している大人たちとも出会うことができます。

- ・ 東海地方の大学生向け対面型研修プログラム
- ・ 20年以上のフィリピンでの海外研修の実績のある認定NPO法人ICANが実施
- ・ オリエンテーションから振り返りまで、全7ヶ月間のプログラム
- ・ 参加費無料

お申し込みは
こちらから



主催



認定NPO法人 ICAN

〒461-0002 名古屋市東区代官町 39-18 日本陶磁器センタービル 5F 中部リサイクル運動市民の会内
TEL&FAX: 052-253-7299 MAIL: info@ican.or.jp 対応時間: 火曜日～土曜日 11:00～18:00

裏面も
ご覧ください！